

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公表番号】特表 2002-515108(P2002-515108A)
【公表日】平成 14 年 5 月 21 日 (2002.5.21)
【出願番号】特願 平 10-530105
【国際特許分類第 7 版】
F 1 6 H 7/06
【F I】
F 1 6 H 7/06

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 12 月 7 日 (2004.12.7)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成16年12月7日



特許庁長官殿

1. 事件の表示 平成10年特許願第530105号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 44061-0540 オハイオ州

メントア ピー、 オー、 ボックス 540

名称 クロイズ ギア アンド プロダクツ

インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿4丁目3番17号

HK 新宿ビル7階 電話03-3357-5171

氏名 (7904) 弁理士 中島 淳 

4. 補正対象書類名

明細書

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を、別紙の通り補正する。



以上

請求の範囲

1. 第1のローラとスプロケットとのかみ合いの開始時点において、該第1のローラとの接線方向の接触をもたらす手段を含む、第1の非対称歯形をそれぞれが有する第1の複数のスプロケット歯と、

第2のローラとスプロケットとのかみ合いの開始時点において、該第2のローラとの半径方向の接触をもたらす手段を含む、前記第1の歯形とは異なる第2の非対称歯形をそれぞれが有する第2の複数のスプロケット歯とを備える、

スプロケット。

2. 前記第1の手段が、第1の嚙合フランクと、第1の嚙合歯底と、該第1の嚙合フランクと該第1の嚙合歯底との間に位置決めされる第1のフラットとを含み、前記第1のローラが、スプロケットとのかみ合いの開始時点において、前記第1のフラットと最初に接触し、

前記第2の手段が、第2の嚙合フランクと、第2の嚙合歯底と、該第2の嚙合歯底には接し該第2の嚙合フランクからは離れた第2のフラットとを含み、前記第2のローラが、スプロケットとのかみ合いの開始時点において、前記第2のフラットと最初に接触する、

請求項1に記載のスプロケット。

3. 前記第1の複数のスプロケット歯が、前記第2の複数のスプロケット歯に関して任意に位置決めされる、請求項2に記載のスプロケット。

4. 前記第2のフラットが第1の部分及び第2の部分を含み、該第1の部分がフランクオフセットを形成し該第2の部分が歯溝の間隙を形成する、請求項2に記載のスプロケット。

5. 前記第2の複数のスプロケット歯が、解放フランク及び該解放フランクに沿って位置決めされる第3のフラットを含んで歯溝の間隙を形成する、請求項2に記載のスプロケット。

6. 前記第1の複数のスプロケット歯のそれぞれが、前記第1の嚙合歯底には

接し前記第1の嚙合フランクからは離れた第3のフラットを含んで歯溝の間隙を形成する、請求項2に記載のスプロケット。

7. 前記第1の複数のスプロケット歯が、解放フランク及び該解放フランクに沿って位置決めされる第3のフラットを含んで歯溝の間隙を形成する、請求項2に記載のスプロケット。

8. 前記第1のローラが前記スプロケットと、完全かみ合い位置において前記第1の非対称歯形に沿った2点で接触する、請求項2に記載のスプロケット。

9. 前記第1の嚙合歯底の半径が前記第1のローラの半径よりも小さい、請求項2に記載のスプロケット。

10. 第1のスプロケットと、第2のスプロケットと、該第1及び第2のスプロケットと嚙合接触したローラを有するローラチェーンとを含み、前記第1及び第2のスプロケットの少なくとも1つが請求項1のスプロケットである、単方向のローラチェーン伝動システム。

11. スプロケットとかみ合うローラチェーンのかみ合い衝撃頻度を修正する方法であつて、

(a) 前記スプロケットを回転させて、前記ローラチェーンの第1のローラと第1のスプロケット歯とのかみ合いの開始時点において、該第1のローラを該第1のスプロケット歯の嚙合フランクと接線方向に接触させ、

(b) 前記スプロケットを回転させて、前記ローラチェーンの第2のローラと第2のスプロケット歯とのかみ合いの開始時点において、該第2のローラを該第2のスプロケット歯の歯底面と半径方向に接触させる、

前記方法。

12. ステップ(a)が、前記スプロケットを回転させて、前記第1のローラと前記第1のスプロケット歯とのかみ合いの開始時点において、前記ローラチェーンの前記第1のローラをフランクフラットと接触させる、ステップを含む、請求項11に記載の方法。

13. ステップ(b)が、前記スプロケットを回転させて、前記第2のローラと前記第2のスプロケット歯とのかみ合いの開始時点において、前記ローラチェーンの前記第2のローラを傾斜フラットと接触させる、ステップを含む、請求項

1 1 に記載の方法。

1 4. ステップ (a) の後、前記スプロケットを回転させて、前記第 1 のローラの完全かみ合い位置において前記第 1 の非対称歯形に沿った他の 2 点で、前記ローラチェーンの前記第 1 のローラを前記第 1 のスプロケット歯と接触させる、ステップ (c) をさらに含む、請求項 1 1 に記載の方法。